

(3) 天然記念物

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 ・備考
1	石戸蒲ザクラ	1本	エドヒガンとヤマザクラの自然雑種と考えられている。指定時は4つの幹からなり、根周り10.9mあった。同じ日に全国で5件のサクラが天然記念物に指定され、日本五大桜といわれた。現在の樹高は14.7m、幹周り3.03m・1.55m・0.66m(H22時点)。	北本市石戸宿3-119 (36.0065, 139.5128)	東光寺 (北本市)	大11・10・12	J R高崎線 北本駅
2	長瀨		結晶片岩の岩石段丘である岩畳や、世界で初めて発見された紅廉石を多く含む紅廉石片岩、褶曲、断層、ポットホールといった様々な地質現象が観察できる。親鼻橋上流地点から高砂橋まで、延長約4km。	秩父郡長瀨町・皆野町 (36.0933, 139.1163)	国ほか (長瀨町)	大13・12・9	秩父鉄道 長瀨駅、 上長瀨駅
3	吉見百穴ヒカリゴケ発生地		生涯の一時期に球状のレンズ状細胞を多くもち、蛍光色の反射光を出すため光って見える。主に本州中部以北の冷涼な山地に分布し、関東平野に発生するのは植物学上貴重。	比企郡吉見町北吉見393 (36.0397, 139.4213)	個人 (吉見町)	昭3・11・30	東武東上線 東松山駅
4	与野の大カヤ	1本	カヤの巨樹として有数であり、応永年間(1394-1428)からその名が知られていたともいわれる。現在の樹高は21.7m、幹周り7.66m(H22時点)。	さいたま市中央区鈴谷1083-1 (35.8720, 139.6271)	妙行寺 (さいたま市)	昭7・7・25	J R埼京線 南与野駅
5	武甲山石灰岩地特殊植物群落		武甲山北側の石灰岩地には、特殊な環境に適応し、チチブイワザクラなどの特産種や好石灰岩植物、ミヤマスカシユリなどの分布上貴重な種が、数多く生育している。	秩父郡横瀬町横瀬	武甲共有山組合	昭26・6・9 (追加指定) 昭58・3・29 (一部解除) 昭63・3・29	西武秩父線 横瀬駅
6	三波石峡		三波石と呼ばれ庭石としても珍重された御荷鉾緑色岩類や三波川結晶片岩類がよく露出し、その転石も多い。三波川変成帯の名前の由来にもなっており、地質学上重要。延長約1.5km。	児玉郡神川町矢納1-1ほか (36.1299, 139.0265)	延命寺ほか (神川町・群馬県藤岡市)	昭32・7・3	J R八高線 丹荘駅
7	宝蔵寺沼ムジナモ自生地		植物学者牧野富太郎が発見した沈水性食虫植物ムジナモの、国内最後の自生地。台風による流出や環境変化により一時は見られなくなって放流が続けられ、近年は科学的知見に基づいた保護の取り組みが実り、継続した越冬が実現し自生状態が復活した。	羽生市三田ヶ谷1302ほか (36.1707, 139.5994)	羽生市ほか	昭41・5・4 (追加指定) 平2・4・27	東武伊勢崎線 秩父鉄道 羽生駅
8	平林寺境内林		東京近郊では貴重となった、武蔵野の雑木林の面影の残る広大な境内林。コナラ林やアカマツ林等からなる。43ha。農用林としての役割が減り大径木化が進行していたことから、平成26年度から伐採・再生事業が進められている。	新座市野火止3-1083ほか (35.7934, 139.5586)	平林寺ほか	昭43・5・28 (追加指定) 昭51・5・12	J R武蔵野線 新座駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 ・備考
9	古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群		新生代新第三紀中新世、秩父盆地周辺に広がっていた「古秩父湾」の誕生から終焉までを物語る露頭（6件）と、当時の生物群集及び古環境の変遷を示す重要な海棲哺乳類の化石標本（9件）。			平28・3・1	
	前原の不整合		奥秩父の山々を構成する古生代～中世代の地層が一度隆起して浸食された上に、新生代の「古秩父湾」の地層が不整合の関係で堆積している。両層の地質年代には1億年以上の開きがある。	秩父郡皆野町大字大淵字橋場429ほか (36.0691, 139.0858)	個人 (皆野町)	(県指定) 平7・3・17 (国指定) 平28・3・1	秩父鉄道 皆野駅
	犬木の不整合		中生代白亜紀（恐竜時代）の地層「山中層群」の上に、新生代（哺乳類が繁栄していった時代）の「古秩父湾」の地層が堆積した不整合。付近からはパレオパラドキシア三山標本も発掘されている。	秩父郡小鹿野町三山字小金沢19ほか (36.0244, 138.9624)	個人 (小鹿野町)	(県指定) 平7・3・17 (国指定) 平28・3・1	秩父鉄道 秩父駅、 西武秩父線 西武秩父駅
	取方の大露頭		高さ約50m、幅約800mの大露頭。関東山地一帯の沈降により古秩父湾が深海の時代を迎えたことを示す、海底地滑りにより形成された砂岩と泥岩の互層を観察することができる。	秩父市下吉田字番戸山7999の一部ほか (36.0383, 139.0469)	国ほか	平28・3・1	秩父鉄道 皆野駅
	ようばけ		高さ約100m、幅約400mの大露頭。古秩父湾は再び浅くなり、同時代の地層からは多くの化石が産出する。大正5年、盛岡高等農林学校2年次の宮沢賢治が地質巡検で訪れたともいわれている。	秩父郡小鹿野町長留字サス1ほか (36.0168, 139.0470)	個人 (小鹿野町)	(町指定) 昭37・9・20 (県指定) 平27・3・13 (国指定) 平28・3・1	秩父鉄道 秩父駅、 西武秩父線 西武秩父駅
	大野原パレオパラドキシア化石産地		昭和47年に発見され、昭和50・52年に発掘された、パレオパラドキシア大野原標本の産出地。国内2例目、秩父地域初の全身骨格。近隣からはチチブクジラなど多くの化石が発見されている。	秩父市大野原字築瀬2123地先 (36.0285, 139.0868)	国	平28・3・1	秩父鉄道 大野原駅
	新田橋の礫岩露頭		断層運動に伴って東側が隆起し、古秩父湾が終焉に向かった時期を代表する露頭。周辺の陸域から供給された角がとがった礫を含む地層を観察することができる。	秩父郡横瀬町大字横瀬字寺坂1902-1ほか (35.9878, 139.1054)	横瀬町	平28・3・1	西武秩父線 横瀬駅
	海棲哺乳類化石群	9件	秩父市大野原産出パレオパラドキシア骨格化石 小鹿野町般若産出パレオパラドキシア骨格化石 小鹿野町三山産出パレオパラドキシア骨格化石 秩父市寺尾産出パレオパラドキシア頭骨化石 皆野町大淵産出パレオパラドキシア化石 秩父市栢谷産出パレオパラドキシア骨格化石 秩父市大野原産出チチブクジラ骨格化石 秩父市蓼沼産出チチブクジラ骨格化石 小鹿野町般若産出オガノヒゲクジラ頭骨化石	秩父郡長瀨町大字長瀨1417-1 (36.0875, 139.1161)	埼玉県 (県立自然の博物館)	(一部県指定) 平11・3・19 平17・3・22 (国指定) 平28・3・1	秩父鉄道 上長瀨駅

地域を定めず指定したもの（うち埼玉県が主な生息地に含まれるもの）

No.	名称	員数	概要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 ・備考
10	越ヶ谷のシラコバト		灰色にバラ色が混じった色で、首に黒い首輪模様のある、小型のハト。関東一円に生息したが一時激減し、保護が必要な著名の動物として指定された。生垣防風林等に営巣。埼玉県の県鳥であり、県のマスコット「コバトン」のモデル。指定後安定的に推移していたが、近年都市化の影響等により減少しており、平成26年3月には「埼玉県シラコバト保護計画」を策定し、生息域外保全を行いながら保護対策の検討を進めている。	(主な生息地が越谷市とその周辺)		昭31・1・14	
11	ミヤコタナゴ		関東地方だけに分布する全長3～5.5cmの小形の淡水魚。かつて県内各地に分布したが、現在は野生絶滅。所沢市・滑川町で人工繁殖による系統保存と野生復帰を目指す取り組みが進められている。	(主な生息地が埼玉県・栃木県・千葉県・神奈川県)		昭49・6・25	
12	ヤマネ		1属1種の日本特産の齧歯類で、本州・四国・九州の山地帯に生息する。冬季は樹洞などでボール状になって冬眠する。	(主な生息地が本州・四国・九州)		昭50・6・26	